



お話しいただいたのは
近藤 嘉人先生

vol.199

こんどーせんせいの 「こどもはスゴイ！」



かわいい子に旅をさせませんか

「お前、すごいな！本当にびっくりしたよ!!」と、5才男の子のパパ。初めてのむし歯治療の様子を、診療台のすぐそばでずっと見ていましたが、男の子はとても上手にやり遂げて、思わず出た言葉でした。

早期発見のコツ

きっかけは、仕上げ磨き担当のパパが、奥歯に通すフロスに引っかかりを感じて「もしや」と思ったことでした。

男の子は1才6カ月健診を機にフッ素塗布を始め、4才までむし歯予防を定期的に行っていたのですが「見た目も問題なさそうだし」と、この1年歯科受診をしていなかったそうです。

視診だけでむし歯を見つけることは困難です。器具を使っての触診、そしてレントゲン写真の撮影により、早期の対応が可能になります。歯に穴があいていなくても、痛みがなくても、歯科で定期的に検査することをおすすめします。



オープン

ストレスがない治療には子どもの不安を取り除く必要があります。小児歯科ではその工夫がいくつもあります。「自分が昔通っていた歯医者とは全然違う。まず思ったのは『白衣じゃないんだ』だった」とパパ。診療着は普段よく見かける服装にしています。

待合室と診療室をへだてる壁がないことも工夫点です。保護者は待合室から診療の様子を見守ることも、診療台のそばで見守ることもできます。

声かけのパワー

言葉の理解がすすんでいる場合は、周りの大人からの励ましと頑張りをはめる声かけが、子どもの不安除去に何よりも効果があります。

ヒトは「安全基地」から離れて外の世界を経験してまた基地に戻る「サークル(周回)」を積み重ねて成熟するといわれています。「安全基地」とは外を探索したあとに戻ってこられる確実な避難所となる人のことで、親だけとは限りません。何かあればすぐに居心地のいい場所に帰れるという安心感があれば、子どもは不安なく新しい経験の旅に出ることができるといえます。

むし歯治療も、子どもにとっては冒険の旅なの

で、医療者も含めて周りの大人がその子の基地となりたいたいものです。

パパは治療中に「大丈夫」と何度も声をかけ、治療が終わると男の子の頭を豪快に撫でながら「帰ったらごほうびを考えないとなー」とうれしそうでした。そして頑張った男の子には、今日一番の笑顔がはじけました。

情報クリップ

『絵本はホスピタリティの宝箱 エピソード33』全国の書店で絶賛発売中です！詳しくは「絵本の日」【公式】サイトまで。今月も待合室で絵本を楽しむ「げんきわくわくおはなし会」を開きます。詳しくは受付にお問い合わせください。日程は医院HPまで。

こどもの歯科

日曜日も診察しています

診療科目 小児歯科・矯正歯科
診療時間 9:00~18:30
(昼休み12:30~14:00)
【休診】木曜・祝日

福岡市南区大橋3-2-1 大橋プラザ2F

☎092(551)8080

http://kodomonoshika.com

